

2019年6月27日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保 泰三
(コード番号2784 東証一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 根本 壮一
(TEL:03-5219-5102)

放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ[®]」の新発売のお知らせ

当社の子会社であるアルフレッサ ファーマ株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:島田浩一、以下「アルフレッサ ファーマ」といいます)は、本日より、放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ[®]」を新発売いたしますのでお知らせいたします。

記

悪性腫瘍の治療は、外科手術、抗がん剤治療及び放射線治療が中心に行われており、放射線治療の中でも粒子線を用いた治療が近年注目されています。粒子線治療はエックス線等を用いた放射線治療と比べ、悪性腫瘍に対し高線量投与が可能であり、より優れた治療効果が期待できます。しかし、消化管等の耐容線量が低い臓器に腫瘍が近接している患者さんの場合、近接臓器に悪影響が生じるために、粒子線治療の適応対象とはなりません。このような患者さんに対しても粒子線治療を可能にするため、吸収性組織スペーサの開発が、医療現場において望まれてきました。

このようなニーズを背景に、アルフレッサ ファーマは、神戸大学医学部との産学連携により、近接する消化管等のため粒子線治療が困難な患者さんに対する、悪性腫瘍と消化管等との間隙確保を目的とした、吸収性組織スペーサである「ネスキープ[®]」の開発を進め、その結果、2018年12月に製造販売承認を取得し、今般の新発売に至りました。本製品により、粒子線治療が必要であるにもかかわらず治療が困難であった患者さんに対し、治療の機会を提供できるものと期待しております。

アルフレッサ ファーマは、今後も付加価値の高い製品の研究開発に取り組み、多様な医療ニーズに対応できる製品を提供してまいります。

【製品概要】

製品名 : ネスキープ[®]
一般的名称 : 放射線治療用吸収性組織スペーサ
規格 : 幅200mm×奥行き100mm×厚さ3種(5mm・10mm・15mm)
包装 : 1枚/1箱
製造販売元 : アルフレッサ ファーマ株式会社

※2019年6月時点において、手技料、特定保険医療材料の設定はございません。

【使用目的又は効果】

近接する消化管等のため粒子線治療の実施が困難な患者における腹腔内もしくは骨盤内の悪性腫瘍(後腹膜腫瘍を含む)と消化管等との間隙の確保

【本製品に関するお問い合わせ先】

アルフレッサ ファーマ株式会社 営業本部 メディカルデバイス営業統括部 MD推進部
TEL:06-6941-0303

以 上

(参考画像)



放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ[®]」